

旭公民館だより

発行 令和7年 2月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

特別号

府中市生涯学習
大学の創設を
目指して！

学び始めたくなる「きっかけ」を考える

こんな講座やプログラムがあれば参加したい、挑戦したい、誘いたいといった「ありそうでなかった学びの場」や「学びのきっかけ」を生涯学習メニューに描き、人生100年時代の新しい学びの機会を広げるためのワークショップが開催されました。

1/29（水）府中市教育委員会主催のワークショップが府中市生涯学習センターで開催され、市内の一般市民といっしょに公民館長も参加しました。

まず初めに県立広島大学の馬本勉副学長からは、生涯学習の広がりを目指した市民ニーズの把握について実施した「生涯学習に関するアンケート」で、公民館を利用しない理由として「興味のある講座がないこと」が一番多く、市民が望む講座となっていない実態が明らかである等の説明がありました。

続いて、新居浜市生涯学習センター所長の関福生さんが「学びの愉しみがまちを育てる～新居浜生涯学習大学33年間の実践から思うこと～」と題して講演がありました。

新居浜市では、多様化・高度化した住民の学習意欲の充足や色んな市民がいるという実感を踏まえて、従来の社会教育関係団体ターゲットから、個人の自由選択重視へ方向転換し、ふるさとに関する学び・地域の人財が主人公になる場づくり・行政と協働で地域課題解決型の学習など、様々な講座を設けている生涯学習大学を運営しているとのことでした。



グループに分かれて話し合う参加者

講演の後、生涯学習の講座について考えるワークショップを行いました。

私が参加したグループでは、「地域の名産である府中みそを取り上げたらどう」から発展し、●みそとは何か/発酵食品を知ろう●府中みその歴史を学ぶ/なぜ特産になったのか●みその種類を知ろう/色んなみそを使った料理を自分たちで作って味わおうといった講座がおもしろいのではないかと考えました。他のグループからも空き家を活用した大規模DIY・子育て後の過ごし方を考える講座などの発表がありました。

今回のワークショップに参加して、市民の皆さんが思っていることを直接聞いたのが一番良かったです。今後の旭公民館の活動の参考にさせていただきたいと思いました。



最後に参加者全員での記念撮影

